

法人会員・賛助会員の皆様へ  
同会員への入会を検討されている皆様へ

## 法人会員及び賛助会員への入会をお勧めします (既往会員の方もご一読下さい)

### 1. 公益社団法人日本証券アナリスト協会の成り立ちと証券アナリストについて

#### (その成り立ち)

日本証券アナリスト協会は、金融のプロである証券アナリスト（日本証券アナリスト協会検定会員、略称：CMA）の新規養成と継続教育を事業の柱として、1962年に創立された社団法人です。2011年4月には、内閣総理大臣による公益認定を受け、社団法人から公益社団法人日本証券アナリスト協会に移行しました。本年10月には創立50周年を迎えます。

#### (CMAについて)

CMAは、金融・証券投資の分野において高度な専門知識と分析技術を応用し、企業（投資）価値を正しく測るスペシャリストとして、投資・運用戦略部門や融資・審査部門、さらには財務・IR部門などに欠かすことのできない有為な人材として活躍しています。

#### (法人会員・法人賛助会員について)

当協会の会員は、個人会員（CMAと一般会員）、法人会員、法人賛助会員及び個人賛助会員から構成されています。このうち法人会員は、代議員選挙時の立候補権、選挙権等を有しますが、法人賛助・個人賛助会員にはその権利はありません。ただし、いずれの会員も、無料ないし割安な価格で会員サービスを享受できます。

法人会員：金融商品取引業を営む法人、信託会社、銀行及び保険会社、証券分析を行っている法人若しくは団体等（定款第7条）

賛助会員：当協会の目的および事業を賛助する個人及び法人・団体（定款第8条）

#### (入会のお勧め)

日本証券アナリスト協会では、CMA取得までの養成教育のみならず、CMA保有者に対しても最新かつ先端のスキル・知識のブラッシュアップのための継続教育を行っており、こうした一貫教育により金融・証券投資分野を支える人材の育成に貢献しています。

CMAの活用で、困難な時代に負けない、より強い組織づくりを考えておられる企業経営者、人材育成責任者の方々へ、「法人会員及び法人賛助会員」への入会を強くお勧めします。

## 2. 法人会員及び法人賛助会員向けサービスについて

機関誌である「証券アナリストジャーナル」の配布をはじめ、法人会員・法人賛助会員所属の役職員全員が、各種事業・行事への参加、通信講座の受講などのサービスを無料ないし会員向け割引料金で享受できます。こうしたサービスを積極的かつ幅広くご利用いただくことにより総体としてのメリットは極めて大きなものとなります。

また、遠隔地在住の会員の方は、当協会ホームページ、動画配信を含むWEBシステム、セミナー等の地方会員向け割引などのご利用により、いつでも、どこでもサービスを享受できる体制を整えています。

### (1) 月刊機関誌「証券アナリストジャーナル」のご送付(毎月)

「証券アナリストジャーナル」は、会員向けの月刊機関誌で、現在の発行部数は約2万5千部です。同誌は、証券投資分析の分野での理論と実践の架け橋を指向し、実務家である会員を念頭に置き、証券分析技術の向上・普及および実務の遂行に役立つ情報をタイムリーかつ継続的に提供しています。読み易く質の高い情報が網羅されており、アナリスト資格を有する社員の継続学習や関連部署に所属する社員の方々の知識のブラッシュアップに大変有益です。同誌掲載論文等の質の高さは、実務家のみならず学界においても高い評価を得ています。

証券アナリストジャーナルの掲載論文については、当協会ホームページでの閲覧およびダウンロードも可能です(有料)。

### (2) 各種事業・行事へのご参加

当協会では、会員の専門知識や証券投資分析技術向上のため、日頃から内外の一流の学者や実務家および上場企業の経営トップの方々との交流を密にしています。こうした方々をお招きし、開催する講演会・セミナーや会社説明会は、その内容の質の高さ、アナリスト向けの公正で良質の情報提供といった面で、関係者の高い支持を得ています。

個人会員のみならず、法人会員・法人賛助会員の役職員の方(これらを以下「会員」と呼びます)であれば、どなたでも当協会主催の各種事業にご参加いただけます。このうち、会社説明会・日本証券アナリスト大会は無料、講演会・セミナーは会員割引価格にてご参加いただけます。

また、遠隔地在住の会員の方にあっては、動画配信サービスや当協会ホームページでの講演等要旨閲覧が無料ないしは会員割引価格にて、いつでも、どこでもご利用できます。

なお、こうした事業の日程等については、その都度会員の皆様にお知らせしております。

#### ① 講演会

証券投資分析、経済・金融のマクロ的な動向や産業界および新技術・新製品

等に関する新たな動き、また会計基準（I F R S等）の動向等に関して随時適切なテーマと講師を選定し、東京では月6回程度開催しています（23年度は東京で67回）。また、東京以外でも、大阪（同7回）、名古屋・札幌・福岡等（同6回）で開催しており、近年は地方での講演会の開催増加に努めています。これら地方での講演会は無料です。

\*講演会参加料

	東京開催	東京以外の開催
会員（首都圏）	1,000円（一部2,000円 または3,000円）	無料
地方会員	無料	無料
非会員	3,000円（一部5,000円）	1,000円

## ② セミナー

セミナーは、資産運用や証券投資分析などの幅広いテーマで、かつ会員の関心の高いテーマを選んでタイムリーに実施しています。その内容は「SAAJ国際セミナー」、「SAAJセミナー（冬、夏、日本ファイナンス学会との共同）」、「PB（プライベート・バンキング）関連セミナー」、「GIPS（グローバル投資パフォーマンス基準）セミナー」、など多彩です。

こうしたセミナーは、東京では月1回程度の頻度で開催しています。本セミナーの開催時間は、半日または1日ないしは複数日にまたがるものもあります。CMAの継続教育の中核であり、内容はプロ向けの実践的かつ専門的なものとなっており、ハイレベルの知識・スキルの習得を目指す社員の方にお勧めです。

参加料はセミナーによって区々となっていますが、非会員の方に比べかなり割安な会員割引料金が適用されます。

なお、講演会・セミナー要旨は当協会ホームページに掲載され、会員であれば無料で自由に閲覧できます。

## ③ 会社説明会（原則として会員のみ参加可、無料）

公開企業の会社説明会を積極的に開催しており、年間の開催回数は東京を中心に1,030回を超えています。経営トップが自ら決算説明だけでなく、会社の経営方針、中期経営戦略、新技術の開発動向等幅広いテーマに関し、証券アナリストを対象に直接説明するIR活動です。工場や研究所等の見学会も行なっています。

また、説明会に参加されなくても、説明会の要旨は当協会のホームページに随時掲載され、会員は無料で自由にご覧になれます。

#### ④ 日本証券アナリスト大会(会員は無料)

年1回の会員全員の参加を念頭に置いた催しです。毎年秋に著名な経営者や実務家あるいは学者をお招きして講演やパネルディスカッションを行っています。同時にディスクロージャー優良企業表彰や「証券アナリストジャーナル」の年間最優秀論文表彰も行います。大会の最終日には、懇親パーティーも用意されており、会員のみならず、関係団体、金融機関、一般事業会社、大学教授、公認会計士、官公庁関係者など幅広い層との交流・情報交換ができます。

#### ⑤ 動画配信サービス(有料:会員割引あり)

講演会・セミナー、会社説明会および証券アナリスト大会については、その模様を随時収録し、当協会ホームページ上で、動画配信サービスを提供しています。この動画配信は、会員であればどなたでもご利用でき、また、利用料金も会員割引価格が適用されます。

#### ⑥ 法人会員・賛助会員の役職員専用ページの新設

当協会では、2011年6月より協会ホームページに法人会員・法人賛助会員の役職員毎の専用ページを新設し、利用できるサービスメニューの一覧を表示し、一元的に利用できるようにしました(従来は、各種事業・サービス毎に所属、氏名等を全て入力)。これにより、会員役職員方の利用しやすさは大幅に向上します。

### (3) 通信教育講座受講料の割引

法人会員及び法人賛助会員の役職員の方が「証券アナリスト通信教育講座・第1次レベル」を受講される場合は、以下のように全員に割引受講料が適用されます。会員受講者のインセンティブとなる一方、法人の奨励金負担も軽減されることとなります。

・1次レベル講座受講料 (消費税込)

受講科目		一般受講者	会員受講者 (割引後)
選 択 受 講	証券分析とポートフォリオ・マネジメント	33,000円	29,000円
	財 務 分 析	16,000円	14,000円
	経 済	16,000円	14,000円
3科目一括受講		54,000円	48,000円

以 上